

2020年9月16日(水) ハコラク10月号 掲載

ドクターコラム『「股関節の痛み」を意識したことありますか?』

整形外科 笹沢 史生 人工関節センター長

「股関節の痛み」を 意識したことありますか?



函館中央病院

整形外科

笹沢 史生 人工関節センター長

テレビの宣伝でよく耳にするのが「肩・腰・膝の痛み」ですが、それらに比べると「股関節の痛み」が意識されることは少ないと思います。元気なお年寄りが増えたこんにちでは、膝の軟骨が擦り減ってしまつて人工関節の手術を受ける患者さんの数も増えていますが、膝同様に体重を支える関節である股関節もまた、人工関節の手術で痛みを取ることが出来る関節です。しかし、膝と股関節の軟骨が擦り減

る経過は同じではないのです。どちらの関節にも一部の「けがが原因の軟骨の擦り減り」はありますが、これを除けば膝の場合はほとんどが「加齢による擦り減り」です。これに対して股関節は、そのきっかけが赤ちゃんの頃にあることが多いと言われています。「赤ちゃんの時に股関節にギブスをした」とか「生まれつき股関節が悪い」というエピソードを耳にされたことはありませんか?程度はさ

まぎまですが、日本を含むアジアの国々にはこのような「子供の頃からの股関節の問題」がほかの地域に比べて多く、こういった子供達は小児期から青年、壮年、そして老年期のどの段階でも「股関節の痛み」を生じる可能性があります。

治療法は年齢によって異なりますので「もしかして」と思の方は、一度整形外科を受診されることをおすすめします。ただ、最終的に中高年の段階で人工股関節の手術を選択せざるを得ないことが少なくないと感じます。製品の質の向上により人工股関節は長持ちするようになっており、痛み次第で40〜50代でも手術を考えても良いと思うのですが、日常診療では我慢している方が多い印象を受けます。手術によりそれまでの痛みがうそのように楽になったという方もいますので、「股関節が痛いのかも」と感じている方の方は一度整形外科にご相談ください。



函館中央病院 函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

■診療科目/内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科

心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全26科目

■受付時間/8:30~11:30、13:30~16:00 ※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。

■休診日/日曜・祝日・年末年始

